

主要行等の平成 22 年 9 月期決算の概要

1. 損益の状況

- 実質業務純益は、資金利益が減少する中、債券等関係損益の大幅な改善等により前年同期に比べ 27.0%の増加。
- 中間純利益は、実質業務純益の増加に加え、与信関係費用の減少等により、前年同期に比べ 131.9%の増加。

(単位：億円)

	20 年 9 月期	21 年 9 月期	22 年 9 月期	前年同期比
業務粗利益	31,511	31,282	34,844	3,562
資金利益	21,026	21,703	20,238	1,466
役務取引等利益	6,264	5,766	5,900	134
債券等関係損益	440	1,310	5,276	3,966
うち、債券等償却(▲)	453	86	169	83
経費(▲)	▲17,717	16,886	16,562	324
実質業務純益	13,794	14,396	18,282	3,886
与信関係費用(▲)	▲7,798	6,027	1,249	4,777
株式等関係損益	▲1,791	80	1,234	1,314
うち、株式等償却(▲)	3,272	936	1,460	524
中間純利益	3,345	5,131	11,899	6,768

(参考)

	20 年 9 月期	21 年 9 月期	22 年 9 月期
貸出金(末残)	253.4 兆円	248.8 兆円	237.7 兆円

(注) 貸出金は銀行勘定計

2. 不良債権の状況

- 不良債権額は 22 年 3 月期と同水準、不良債権比率は上昇。

	21 年 3 月期	22 年 3 月期	22 年 9 月期
不良債権額	4.8 兆円	5.0 兆円	5.0 兆円
不良債権比率	1.66%	1.86%	1.89%

3. 自己資本比率の状況

- 自己資本比率は 22 年 3 月期に比べ上昇。

	21 年 3 月期	22 年 3 月期	22 年 9 月期
自己資本比率	12.42%	15.82%	16.74%

(注1) 記載金額は、単位未満を四捨五入して表示。

(注2) 計数は単体ベース。なお、一部の銀行において再生専門子会社及び株式保有専門子会社の計数を含む。